

策定年月	令和6年8月
見直し年月	令和 年 月

麦・大豆国産化プラン

産地名：渋川市

(作成主体：渋川市農業再生協議会)

1. 麦・大豆生産の現状と課題及び課題解決に向けた取組方針

当市における作付面積は増加傾向にあるが、天候に左右されやすい麦・大豆は収量確保に大きな問題を抱えており、ほか作物への転換や、水田では水稻へ戻してしまう農業者も少なくない。麦・大豆の国産化・定着促進に向けて、作業効率の増加を目指した団地化・機械導入等を推進していく。

圃場拡大と収量改善

生産性の向上

圃場の団地化
大型機械の導入
各種アタッチメントの導入

作業の合理化

高速播種機
同時施肥機
GPS自動操舵システム
ドローンによる施肥・防除

品質及び収量安定化

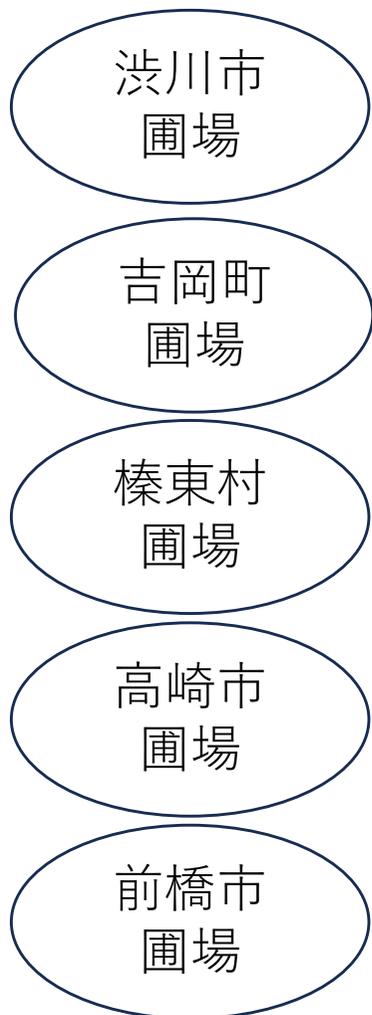
施肥設計と土壌菌の活用
化成肥料・農薬の低減
色彩選別機導入

※ 麦・大豆生産における課題(湿害対策、適期播種、土づくり、連作障害対策等の必要性等)を具体的に記載すること。

※ 課題解決に向けて取り組む内容及び今後の生産拡大に向けた方針を具体的に記載すること。

2. 産地と実需者との連携方針

各JA、作付農家と連携し、需要と供給に基づいた作付を推進し、国産化の促進につなげる。



群馬県農業公社
中間管理機構

株式会社農業支援センター

品目	単位	令和5年度	令和9年度	JAにおける契約数量（令和5年度）	
		（現状）	（目標）	JAはぐくみ	JA北群渋川
小麦	単収(kg/10a)				
	生産量(kg)				
大麦	単収(kg/10a)				
	生産量(kg)				

圃場 生産管理

KSAS圃場管理システム
圃場集積 団地化
施肥設計 防除計画
土壌診断 土壌菌試験

栽培 作業管理

トラクター 3台
各種アタッチメント
プラウ ロータリー 14条同時施肥播種機
ブームスプレヤー その他
自脱コンバイン 3台 汎用コンバイン 1台
コンベア連動大型乾燥機 7台
フレコン対応計量器

販売管理

（実需者）

JAはぐくみ→全農ぐんま→
JA北群渋川→全農ぐんま

※ 産地と実需者については具体的な名称を記載すること。

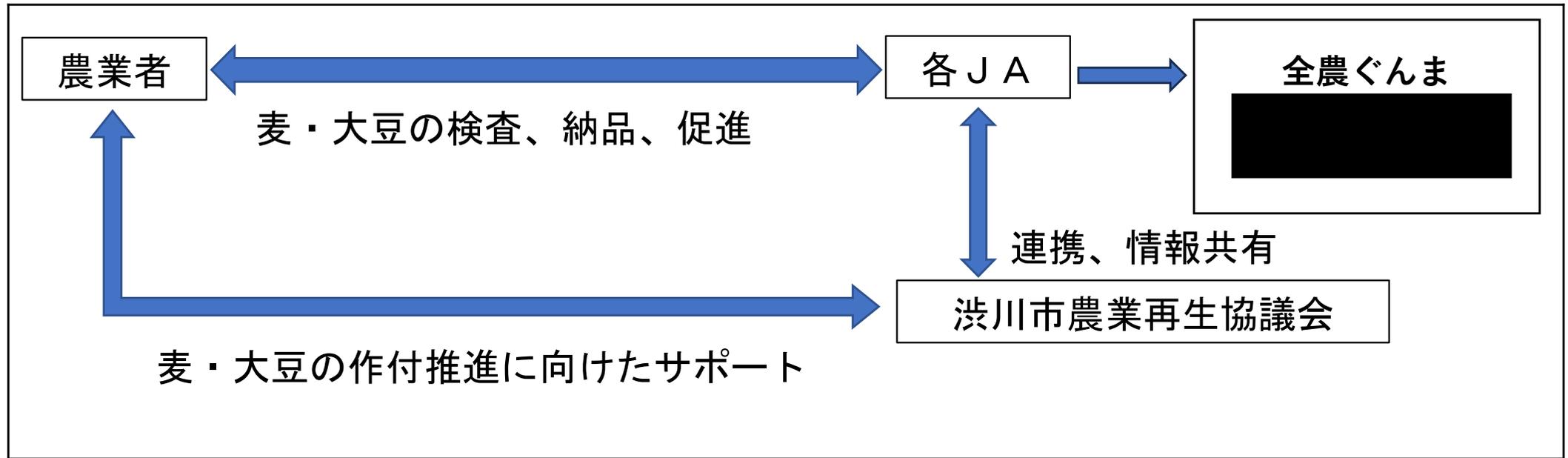
※ 麦の実需者は、麦を原料とした加工品等の製造を業とする者（製粉会社、製パン会社、製麺会社等）とする。

※ 大豆の実需者は、大豆を原料とした加工品等の製造を業とする者、大豆の販売を業とする者及びこれらの者が組織する法人その他の団体とする。

なお、販売を業とする者を実需者とする場合は、その者が販売する先（最終実需者）について、代表的な者の名称を記載すること。

※ 産地と実需者それぞれの国産麦・大豆取扱量の現状とおおむねの目標値を記載すること。

3. 麦・大豆の国産化に向けた推進体制及び各関係者の役割



※ 産地と実需者との連携について、図等を用いて明示すること。

※ 取組の中心となる農業者等を必ず位置付けること。